

事例1 校則(制服)の見直し

令和2年12月 生徒会役員が学校長とPTA会長に私服試行期間
「制服を考える週間」の実施を提案

令和3年1月 生徒議会にて「制服を考える週間」実施の提案可決
→職員会議に報告して職員理解を得る

1月 学校運営協議会に報告、PTA役員、同窓会の了承も
得た上で、生徒・保護者に趣旨説明の文書を配布

令和3年2月

「制服を考える週間
(2月15日～26日)」

を実施、生徒・保護者
教員にアンケート

写真:2021年9月9日 NHK
クローズアップ現代+
「その校則、必要ですか?
密着!改革の最前線」より



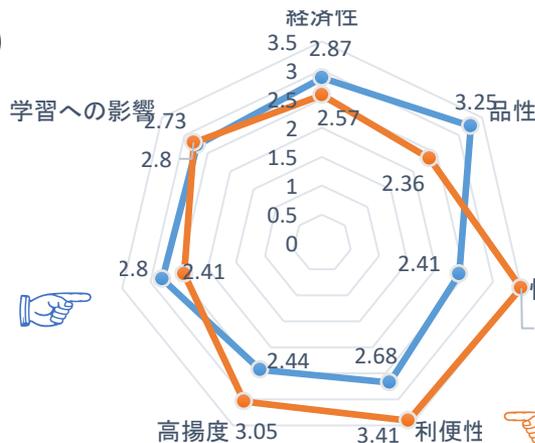
服装の評価

事後アンケート(R3.3)より

- 制服
- 私服

安全性

生徒

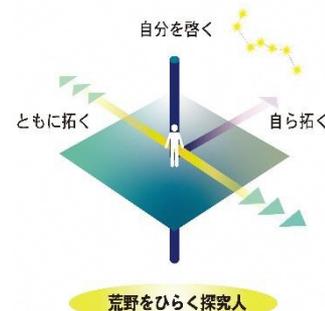


品性

快適性

利便性

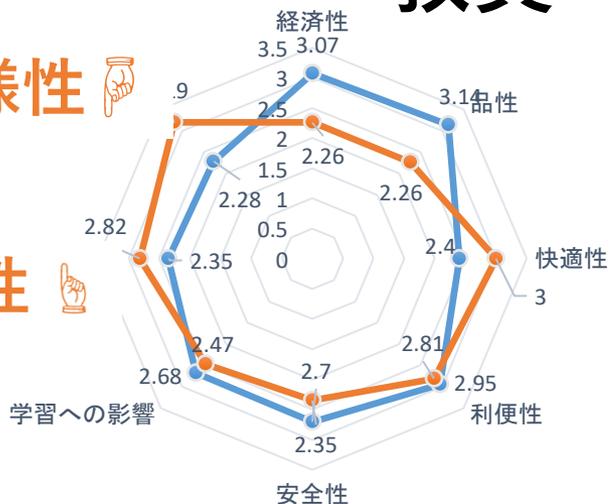
●制服 ●私服



教員

多様性

自立性

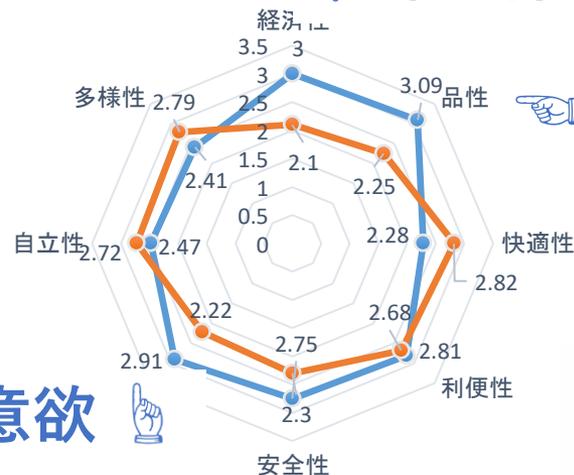


保護者

経済性

品性

学習への意欲



令和3年4月 生徒を含む「**制服等に関する検討委員会**」を設置し、
 学校長が「**制服の在り方**」についてを諮問。

＜諮問文の概要＞

「**岐阜北高生にふさわしい制服及び服装規定の在り方について**」

- ① 校則としての制服
- ② ドレスコード、マナーとしての着こなし
- ③ 多様性や個別生徒への配慮
- ④ 新型コロナ等、特別な状況下での対応



「**制服等に関する検討委員会**」＜構成メンバー＞

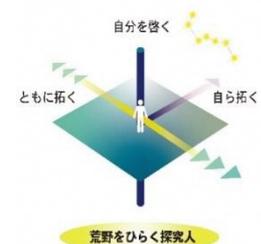
教員：生徒指導部長、進路指導部長、特活部長、CD部長

生徒：生徒会長、副会長

「**ワーキンググループ**」＜構成メンバー＞

教員：生徒会担当教員、生徒指導部制服担当教員

生徒：生徒会役員、議員、公募した有志生徒



令和3年度

ワーキンググループの検討 (R3.4~R4.2)

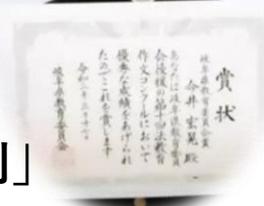


NHKの取材

最優秀賞 受賞



「コロナ禍で
考える校則」



「法教育作文コンクール」

制服業者への聞き取り



アンケートの分析、他県や諸外国の調査、
検討の進捗状況をHPで配信

令和4年2月 制服検討委員会が最終答申を提出(R4.2.18)

⇒ 「制服と私服を選べる『選択制』の導入」を提案

3月 答申等を受けて学校長が方針案を提出(R4.3.3)

◆服装規定の見直しの方向性について(骨子) 学校長

制服検討委員会のご意見等を受け、以下の方向性で校則を見直す。⇒ 「制服」を基本としつつ、季節や状況に応じて私服も含めた「選択制」を導入する

1 「制服」の選択肢を広げる

ブレザー型の制服にスラックス(R3～)やベスト(R4～)を採用

2 「制服」以外の衣類等については校則で規制しない

靴、靴下や上着等は生徒がTPOを自ら考え品性を保って着こなすこと

3 特定の状況下で、制服以外の機能的・合理的な服装(私服含め)を選べる「選択制」とする

例) 感染症防止対策、夏や冬の一定期間、部活動後、各種学校行事 等

4 生徒が見直しを提案できるしくみづくり

生徒議会の発議等により、制服(校則)等検討委員会を設置

令和4年4月 職員会議での報告、学校運営協議会委員、PTA役員及び同窓会役員の同意を得て、上記方針で「生徒心得」を改訂

令和4年6月 「**選択制**」の時期の運用方法を生徒指導部(教員)と生活委員会(生徒)とで検討、「**夏季選択制**」期間中の「**スクール・カジュアル(推奨)**」を生徒に提案 ↓

6月末～9月末 「**夏季選択制**」を導入

11月～2月末 「**冬季選択制**」を導入

令和5年8月 ジェンダーに配慮し制服の選択肢に「**ネクタイ**」を追加



令和5年12月
制服の選択肢拡大
「**男子用ブレザー**」
「**ポロシャツ**」の導入決定



令和6年度～

標準

生徒にモニター募集中

令和5年度

校則見直しの取組みが評価され、NPO法人カタリバ主催のルールメイキングサミット全国大会に招待され、生徒会長と生活委員長が北高の取組みを紹介。



ルールメイキング
サミット
2023

9.24 [SUN]
14:00-17:00
※13:30～観覧受付開始

桜美林大学 新宿キャンパス
(JR新大久保駅 徒歩7分)



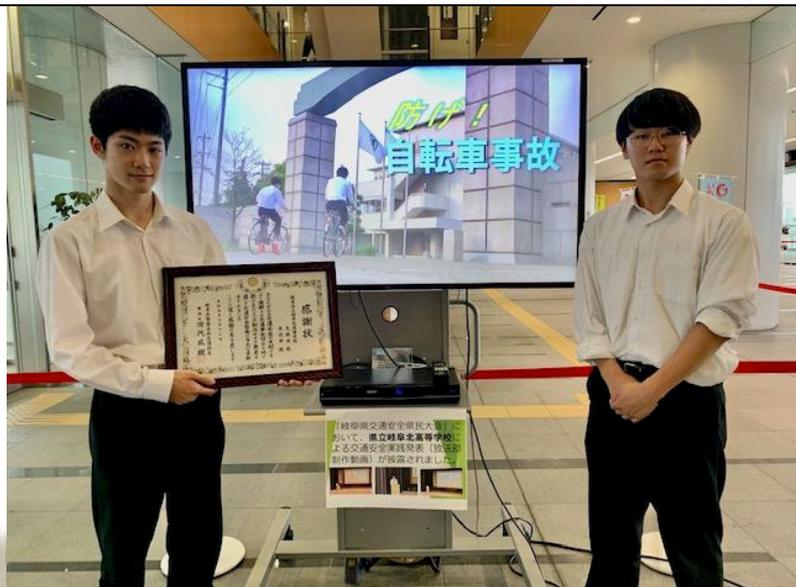
中高生ルールメイカー
100人
×
各界の
トップランナー
と考える学校づくり



事例2 生活委員会の交通安全啓発活動

令和5年度

ヘルメット着用の啓発など、生徒主体の活動が評価され、
令和6年1月交通安全国民運動中央大会(東京)にて全国表彰。



「高校文化祭で自転車ヘルメット着用呼びかけ」NHKニュース(R5.9.5)



事例3 美化・保健委員会による学校環境衛生活動

学校薬剤師とも連携しながら、生徒主体に行う学校の衛生管理、環境美化活動、啓発映像の作成等が評価された。

岐阜県学校環境衛生活動表彰
「優良校表彰」を5年連続で受賞

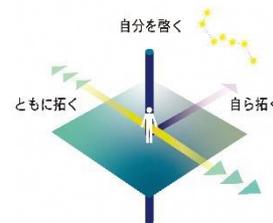
令和4年度

学校環境衛生活動表彰「優秀校」に選出

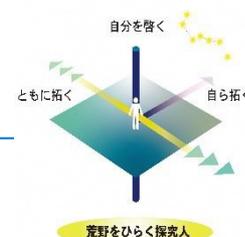
岐阜県薬剤師協会で本校の取組みを発表

令和5年度

令和5年10月 全国学校保健・安全研究大会(神戸)にて
岐阜北高校の環境衛生活動の取組を発表



スクール・ポリシー実現のための課題



課題1 教職員が異動しても**持続可能なくみづくり**

- 学校運営協議会**を活用し、スクール・ポリシーを踏まえた「**学校経営**」の**PDCAサイクル**を確立し、各分掌のMissionと具体的方策を明確にした上で、毎年度の点検と評価、改善を繰り返すことで**発展するしくみ**をつくる。
- 職員研修**を充実させ、「**振り返り職員会**」や、教育を受ける当事者である生徒を含めた「**がやがや会議**」等を通して**共通理解**を図る。

課題2 具体的な事業を実施するために必要な**予算の確保**

- 学校の設置者(県教委)が各高校の**スクール・ミッション**踏まえた**研究指**定により、**外部人材の活用**や調査研究に必要な**学校独自予算を確保**する。
- 各校が**同窓会**や**PTA(保護者)**の**理解と支援**を得る。

課題3 教員の負担を増やさず「**働き方改革**」と逆行しないこと

- スクール・ポリシーを明確に示すことで、それを基準に行事等の必要性や**優先順位**を考え**精査**する。
- 教育を教員のみで行う発想を止め、**外部の教育資源**を有効に活用する。

ご清聴ありがとうございました